

令和 7 年 3 月 21 日

会 議 錄

|           |  |
|-----------|--|
| 審議会等の名称   | 函南町国民健康保険運営協議会   |
| 庶務を担当する所属 | 住民課  |
| 会議の開催の日時  | 令和 7 年 2 月 27 日 (木) 午前・午後 7 時  |
| 会議の開催場所   | 函南町役場 5 階 第 1 ・ 第 2 議室   |
| 出席者(職・氏名) | 函南町国保運営協議会委員 10 名<br>会長 水品 智幸<br>委員 川口 正文 富田 盛嗣 高橋 健司 柏木 敦博<br>鈴木 真知子 鈴木 晴範 塩崎 敬子 森 洋子<br>松岡 利行<br>厚生部長 大沼 裕幸<br>住民課長 西澤 文雄<br>住民課補佐 西増 佳子<br>住民課係長 和泉 安武<br>住民課主査 神保 雅弘   |
| 議題        | 協議事項<br>1 令和 6 年度事業実績(見込)報告<br>2 令和 7 年度事業計画(案)  |
| 協議内容      | 協議事項 1・2 について、令和 6 年現在の被保険者数推移、財源となる国民健康保険税や支出である医療費見込み等の国保財政、実施事業の概要等の説明を実施し、併せて令和 7 年度に向けての事業実施について協議を実施した。結果、以下のような意見・方針がまとまった。<br><br>①人口減少に伴う情勢と保険証廃止に伴う滞納者への対応方法について、確実且つ丁寧な対応を求める。<br>②特定健診の受診率が低調であることについて、継続したアプローチを了とするものの、血糖コーチング等の新たな取り組みの他、「食」を通じた特定保健指導の拡充を求める。<br>③水中運動教室の広報周知の拡充、出張出前講座のテーマをわかりやすく策定するなどの環境づくりや歯科医師会と連携した「歯と口腔」を主体とする講座の実施等を検討していく。<br>④特定健診の目標は住民の健康維持であることに鑑 |

|        |  |
|--------|--|
|        | み、特定健診だけではなく、かかりつけ医による検査など、自身の健康維持に繋がる動きとそれを支える体制こそが最も肝要である。 |
| 備<br>考 | 傍聴者 なし   |